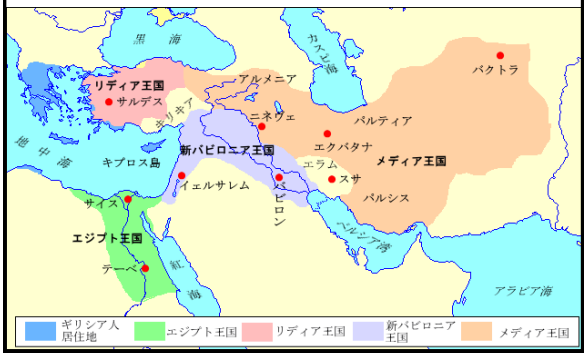
「聖書を切り裂(さ)いた王」

エレミヤ書36章21～24節

1

ユダを滅ぼすバビロニア帝国



2

神（のことば）の上に自分を置く

- エホヤキムの第4年(前609年)ごろ、バビロニアはエジプトとの戦いに勝ち、ユダをその支配下に入れ、ダニエルたちを連れて帰った。(前597年エホヤキム死去)
- 神はエホヤキム王にみことばを送った。(前609)
- 預言者エレミヤにみことばを預け、巻物として届けた。
- この場面と幕末に京都守護職松平容保(かたもり)に孝明天皇から手紙が届いた場面を比べる
- エホヤキム王は神のことばを切り裂いて燃やした。

3

王はエフディに、その巻き物を取りに行かせたので、彼はそれを書記エリシャマの部屋から取って来た。エフディはそれを、王と王のかたわらに立つすべての首長たちに読んで聞かせた。第九の月であったので、王は冬の家の座に着いていた。彼の前には暖炉の火が燃えていた。エフディが三、四段を読むごとに、王は書記の小刀でそれを裂いては、暖炉の火に投げ入れ、ついに、暖炉の火で巻き物全部を焼き尽くした。

エレミヤ36:21-23

4

神（のことば）の上に自分を置く

- 王も、彼のすべての家来たちも、これらのすべてのことばを聞きながら、恐れようともせず、衣を裂こうともしなかった。 エルナタンとデラヤとゲマルヤは、巻き物を焼かないように、王に願ったが、王は聞き入れなかった。 エレミヤ36:24-25
- ああ、エルサレム、エルサレム。預言者たちを殺し、自分に遣わされた人たちを石で打つ者、わたしは、めんどりがひなを翼の下にかばうように、あなたの子らを幾たび集めようとしたことか。それなのに、あなたがたはそれを好まなかった。

ルカ13:34

5

神（のことば）の上に自分を置く

- なぜこのことが書かれている？「聖書を読んでいる良い子の皆さん、絶対にまねをしないでください」というメッセージ。
- これらのことが彼らに起こったのは、戒めのためであり、それが書かれたのは、世の終わりに臨んでいる私たちへの教訓とするためです。

1コリント10:11

- 人の心の高慢は破滅に先立ち、謙遜は栄誉に先立つ。 箴18:12

6

神（のことば）の上に自分を置く

- 人は神の言葉を破ることはできない。神の言葉を破る人は自分を破る。
- 「とげのついた棒をけることはあなたにとって痛いことだ。」 使徒26:14
- みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。というのは、人々が健全な教えに耳を貸そうとせず、自分につごうの良いことを言ってもらうために、気ままな願いをもって、次々に教師たちを自分たちのために寄せ集め、真理から耳をそむけ、空想話にそれて行くような時代になるからです。 2ﾃﾓﾃ4:1-4

7

自分の衣を裂いて泣いた王

- エホヤキムの父、ヨシヤ王のちがい。
- ヨシヤ王の時代に、聖書の一部が神殿で発見され、王に届けられた。 2歴代34章
- エホヤキムはそのみことばを切り裂いたが、ヨシヤは、自分の衣を切り裂いた。（みことばによって、心が引き裂かれる思いであった。）
- 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます。（神のメス）
  ﾍﾌﾞﾙ4:12

8

聖書を読むより読まれよ！

- 神よ。私を探り、私の心を知ってください。私を調べ、私の思い煩いを知ってください。 私のうちに傷のついた道があるか、ないかを見て、私をとこしえの道に導いてください。詩139:23-24
- 読むより、読まれよ。マスターするより、マスターされよ。マスターに出会い、従え。
- みことばを自分に合うように変えてしまうのではなく。みことばに合うように、みこころに合うように変えていただく。
- 聖書復帰運動から受け継がれた聖書に対する態度。常に素直な姿勢でみことばに従う。

9

自分の衣を裂いて泣いた王

- 聖書はあなたに知恵を与えてキリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができるのです。聖書はすべて、神の霊感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです。 2ﾃﾓﾃ3:15-17
- 聖書は関係の書、出会いの書、いっしょに生きま書（しょ）。マニュアルよりインマヌエルの書
- いっしょの書、**「いっ書（しょ）」**（聖書の新しいニックネーム）。

10

自分の衣を裂いて泣いた王

わたしは、高く聖なる所に住み、心砕かれて、へりくだった人とともに住む。へりくだった人の霊を生かし、砕かれた人の心を生かすためである。
イｻﾞﾔ57:15

11